

JCIA BIGDr のご紹介 (画面構成と使い方)

1. JCIA BIGDr とは

JCIA¹ BIGDr²(ビッグドクター)は一般社団法人日本化学工業協会(日化協)が提供する化学物質リスク評価支援ポータルサイトです。GPS/JIPS 活動³の支援に加え、より広く化学物質リスクアセスメント全般をカバーしています。

開発・運営は日化協事務局ならびにみずほ情報総研株式会社が行っています。

2. タブ (画面上部) の構成紹介

BIGDr の画面上部にあるタブは以下のように分かれており、どこの画面からでもすぐに見たいコンテンツを選択することができるようにしています。

また、更新があったコンテンツについては、その右側に **NEW** のマークを付けています。

The screenshot shows the top navigation bar of the JCIA BIGDr website. It includes a logo, a home button, and a contact button. Below these are several tabs for different content areas. Callouts with colored boxes and arrows point to specific tabs and their contents:

- お問い合わせ (3.13 節)** (Callout box: pink)
- 有害性情報 DB ポータル (3.1 節)** (Callout box: green)
- 国内外法規制情報 (3.2 節)** (Callout box: green)
- リンク集 (3.3 節)** (Callout box: green)
- 資料集 (3.4 節)** (Callout box: green)
- リスクアセスメント実践 (3.5 節)** (Callout box: yellow)
- リスクアセスメントツール (3.6 節)** (Callout box: yellow)
- 作業者リスクアセスメント (3.7 節)** (Callout box: yellow)
- 混合物リスクアセスメント (3.8 節)** (Callout box: yellow)
- ICCA 掲載 安全性要約書 (3.9 節)** (Callout box: red)
- GPS/JIPS コンソーシアムと安全性要約書のドラフト (3.10 節)** (Callout box: red)
- GPS/JIPS (3.11 節)** (Callout box: red)
- ケミカラーカイクス (3.12 節)** (Callout box: pink)

¹ JCIA: Japan Chemical Industry Association (一般社団法人 日本化学工業協会)

² BIGDr: The Base of Information Gathering, sharing & Dissemination for risk management of chemical products (事業者の化学物質管理を総括的に支援するための情報収集・共有・発信の基盤システム)

³ GPS/JIPS 活動: Japan Initiative of Product Stewardship (ジャパンイニシアチブ オブ プロダクト スチュワードシップ) 尚、GPS/JIPS 活動全般に関しては、日化協 GPS/JIPS ポータルサイトもご参照ください。

3. 各ページの紹介

3. 1 有害性情報 DB ポータル

① 機能

- ✧ 有害性情報に関する主要な DB、情報源にリンクしており、物質情報を横串に一括検索できます。

② 利用目的

- ✧ 調べたい物質の有害性情報を、国内に点在する有害性情報データベースから一括検索したい場合にご利用ください。

③ 使い方

<検索方法>

- ✧ 検索欄に物質名や CAS 番号を入力して、「検索」ボタンを押すと、検索結果の表が出力されます。
- ✧ 物質名称による検索は、時間がかかるほか別名表記等により検索で拾われない場合がありますので、CAS 番号による検索を推奨します。
- ✧ 物質名称でキーワードを入力した場合、全ての条件に該当する物質が検索されます。例えば、物質名称で「部分一致」を選択して、スペースで区切って複数のキーワードを入力した場合、キーワードを全て含む物質名称が検索されます。
- ✧ また、「完全一致」を選択して、スペースで区切って複数のキーワードを入力した場合、入力されたキーワード（スペースを含んだ状態）と完全一致する物質名称が検索されます。

<検索結果>

- ✧ 検索結果は、「有害性情報データベース」と「リスク評価書、試験データ、研究論文に関するデータベース」ごとに星取表形式で一括表示されます。
- ✧ データベース名の下にある●マークをクリックすると、そのデータベースの当該物質のページが直接表示されます。

<検索対象 DB>

- ✧ 検索対象 DB については、一覧表を次ページに掲載しています。

有害性情報DBポータル

検索する

物質名称 部分一致 ▾

CAS番号

検索結果表示形式 ☒ マトリックス形式 ☐ リスト形式

検索 クリア

右表の有害性情報に関する主要なDB、情報源にリンクしており、物質情報を横断に一括検索できます。
(CAS番号での検索をお勧めします。)
検索を実行すると、**検索結果**が出力され、●マークをクリックすると当該情報源の当該物質のページが直接表示されます。

DB情報源	解説(主な掲載情報)	登録物質数
GHS分類(関係省庁連絡会議)	関係省庁の連絡事業で実施されたGHS分類情報のデータベース	1255
GHS分類(経産省)	経産省事業で実施されたGHS分類情報のデータベース	140
GHS分類(厚労省・環境省)	厚労省・環境省の連絡事業で実施されたGHS分類情報のデータベース	1491
GHS分類(EU)	EU CLP規則 Annex VIに記載されているEUのGHS分類情報のデータベース	3905
GHS分類(韓国)	韓国の国立環境科学院が公表しているGHS分類情報のデータベース	781
IOCA掲載安全性書約書(国際化学工業協会協議会)	国際化学工業協会協議会(IOCA)に掲載されている日本企業作成の安全性書約書のデータベース	IOCA掲載安全性書約書のタブに記載

「50-00-0」で検索した場合の結果を例示。有害性情報源へのリンクが掲載される。

検索結果

ジャンプしたいDBのマーク●をクリック（新規ウィンドウで立ち上げたい場合は Shiftキーを押しながらクリック）して下さい

① 有害性情報データベース

CAS番号	物質名称	GHS分類					CHRIP	WebKis-Plus	安衛法(SDS)	安衛法(GHS)	化学製品情報DB
		関係省庁連絡会議	経産省	厚労省環境省	EU	韓国					
50-00-0	ホルムアルデヒド	●			●	●	●	●	●	●	●

② リスク評価書、試験データ、研究論文に関するデータベース

CAS番号	物質名称	ICCA掲載安全性要約書	日化辞Web	JECDB	環境省環境リスク評価	NITE/CERI初期リスク評価	OECD SIDS	JETOC SIDS和訳	EU RAR	ICSC	EHC
50-00-0	ホルムアルデヒド	●	●		●	●	●	●		●	●

●をクリックすると、外部のデータベースにジャンプし、当該物質のページが直接表示される。

nite 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

化学物質管理分野

化学物質の総合的なリスク評価・管理に関するさまざまな情報を提供しています。

化学物質総合情報提供システム
Chemical Risk Information Platform (CHRIP)

総合検索 **検索条件入力** > 中間検索結果 > 総合情報表示

検索結果

一般情報 国内法規制 各国ハザード 暴露情報 各国有害性評価 物理化学性状 環境毒性 健康毒性

(現在、データの無い項目も表示しています) 表示しない 一括表示 印刷ページ

1-一般情報

■ 一般情報 データの説明


CAS番号	50-00-0
日本語名	ホルムアルデヒド
英語名	Formaldehyde
分子式	CH ₂ O
構造式	

表 有害性情報 DB ポータルにおけるリンク先の情報源一覧

【 ① 有害性情報データベース (DB) 】

DB 情報源	解説 (主な掲載情報)	登録物質数
GHS 分類(関係省庁連絡会議)	関係省庁の連携事業で実施された GHS 分類情報の DB	1255
GHS 分類(経産省)	経産省事業で実施された GHS 分類情報の DB	140
GHS 分類(厚労省・環境省)	厚労省・環境省の連携事業で実施された GHS 分類情報の DB	1491
GHS 分類(EU)	EU CLP 規則 AnnexVIに記載されている EU の GHS 分類情報の DB	3905
GHS 分類(韓国)	韓国の国立環境科学院が公表している GHS 分類情報の DB	781
CHRIP (NITE)	製品評価技術基盤機構 (NITE) が公表している化学物質リスク評価・管理のための総合 DB。 BIGDr では有害性情報の得られる物質へのリンクのみを登録。	約 9000
WebKis-Plus (国環研)	国環研が公表している化学物質リスク評価・管理のための総合 DB。CHRIP と同様、用途・生産量、物質情報、ばく露情報、リスク評価文書へのリンクなどが掲載。	約 7000
GHS 対応モデル SDS 情報 (厚労省)	GHS 及び安衛法第 57 条に基づく通知対象物質のモデル SDS 情報の DB	2711
GHS 対応モデルラベル (厚労省)	GHS 及び安衛法第 57 条に基づく表示対象物質のモデルラベル情報の DB	2218
化学製品情報 DB (日化協)	化学関連企業が製造・輸入・販売する化学製品の DB。各製品の成分、組成、用途、危険有害性分類、連絡先情報など。	5899

【 ② リスク評価書、試験データ、研究論文に関するデータベース 】

DB 情報源	解説 (主な掲載情報)	登録物質数
ICCA 掲載安全性要約書 (国際化学工業協会協議会)	国際化学工業協会協議会 (ICCA) に掲載されている日本企業作成の安全性要約書の DB	— (毎月更新)
日化辞 Web (JST)	科学技術振興機構 (JST) が構築している、論文に出現する有機化合物名称・構造のデータベース。関連する論文等へもリンクしている。BIGDr では CAS 番号付きの物質のリンクのみを登録。	約 21 万
既存化学物質毒性データベース (JECDB) (厚労省、国衛研)	既存化学物質(昭和 48 年以前に既に製造・輸入されていた物質)につき、OECD テストガイドラインに準拠・実施された反復投与毒性、生殖発生毒性、変異原性等の試験結果の DB	277
化学物質の環境リスク初期評価 (環境省)	化学物質の健康リスクと生態リスクを対象とし、有害性評価、ばく露評価、スクリーニング的なリスクの程度の判定を実施したリスク評価書。	371
初期リスク評価 (NITE/CERI)	化管法対象物質を中心に環境中の生物及びヒト健康に対する化学物質のリスクについてスクリーニング評価を行った結果をまとめたリスク評価書。	265
OECD SIDS	OECD において化学物質のリスクについて初期評価を行ったレポート (SIAR : SIDS Initial Assessment Report) 。	1166
JETOC SIDS 和訳	一般社団法人 日本化学物質安全・情報センター(JETOC)が OECD より翻訳の許諾を受けて作成・公開している、OECD SIAP(SIDS Initial Assessment Profile)及び ITAP (Initial Targeted Assessment Profile)の日本語訳をまとめた DB。	760
EU リスクアセスメントレポート (EU RAR)	EU において、既存化学物質規制 (ESR) に基づき 1994 年から 2007 年までの間に実施されたリスクアセスメントレポート。	139
国際化学物質安全性カード (ICSC)	UNEP、WHO、ILO の協力の下で運営されている国際化学物質安全性計画 (IPCS) が作成している国際化学物質安全性カード (ICSC、International Chemical Safety Card)。CAS 番号の得られる 1694 物質について掲載。	1694
ICSC 日本語版	国立医薬品食品衛生研究所が作成・公開している、ICSC 日本語版のデータベース。CAS 番号ベースで 3305 物質について掲載。	3305

DB 情報源	解説（主な掲載情報）	登録物質数
環境保健クライテリア（EHC）	国際化学物質安全性計画（IPCS）の作成した「環境保健クライテリア（EHC）」は、安全基準や規制の構築に関わる科学者や行政担当者のために作成されたモノグラフであり、様々な物質に関する基礎的な科学的リスク評価がなされている。CAS 番号の得られる 1345 物質について掲載。	1694
EHC 日本語抄訳	国立医薬品食品衛生研究所が作成・公開している、EHC 日本語抄訳のデータベース。CAS 番号ベースで 489 物質について掲載。	1694

【 ③ 統合型 （①のリンクポータル機能と②の試験データの双方が掲載されているデータベース） 】

DB 情報源	解説（主な掲載情報）	登録物質数
ChemIDplus	米国 NLM（National Library of Medicine, アメリカ国立医学図書館）が運営しているデータベースで、欧米等の主要なデータベースへのリンクポータル機能や有害性情報の試験データ一覧等を掲載している。 CAS 番号の得られる約 31 万物質について掲載。	約 31 万

3. 2 国内外法規制情報 DB

① 機能

- ✧ 国内外法規制情報にリンクしており、物質情報を横串に一括検索できます。

② 利用目的

- ✧ 調べたい物質に関する国内外法令情報の該当の有無を、一括検索したい場合にご利用ください。ただし、最新の情報とは限りませんので、必ずリンク先のページを確認するようにしてください。

③ 使い方

<検索方法>

- ✧ 検索欄に物質名や CAS 番号を入力して、「検索」ボタンを押すと、検索結果の表が出力されます。
- ✧ 物質名称による検索は、時間がかかるほか別名表記等により検索で拾われない場合がありますので、CAS 番号による検索を推奨します。
- ✧ 物質名称でキーワードを入力した場合、全ての条件に該当する物質が検索されます。例えば、物質名称で「部分一致」を選択して、スペースで区切って複数のキーワードを入力した場合、キーワードを全て含む物質名称が検索されます。
- ✧ また、「完全一致」を選択して、スペースで区切って複数のキーワードを入力した場合、入力されたキーワード（スペースを含んだ状態）と完全一致する物質名称が検索されます。

<検索結果>

- ✧ 検索結果は、「国内法令」と「海外法令」ごとに星取表形式で一括表示されます。
- ✧ データベース名の下にある●マークをクリックすると、そのデータベースの当該物質のページが直接表示されます。

<検索対象法令・DB>

- ✧ 検索対象法令については、一覧表を次ページに掲載しています。
- ✧ リンク先の DB は、CHRIP（製品評価技術基盤機構）、ケミココ（環境省）、職場のあんぜんサイト（厚生労働省）の3つです。

国内外法規制情報

検索する

物質名称 部分一致

CAS番号

検索結果表示形式 ☒ マトリックス形式 ☐ リスト形式

検索 クリア

右表の国内外法規制情報にリンクしており、物質情報を簡単に一括検索できます。
(CAS番号での検索をお勧めします。)
検索を実行すると、**検索結果**が出力され、●等のマークをクリックすると当該物質のページが直接表示されます。

検索結果での略称	法令等の名称	法規制対象
化審法(優先評価)	化学物質審査規制法(化審法)	優先評価化学物質 評価対象物質のリストは こちら (NITE CHRIPにリンク)
化審法(1特)	化学物質審査規制法(化審法)	第一種特定化学物質
化審法(2特)	化学物質審査規制法(化審法)	第二種特定化学物質
化審法(監視化学物質)	化学物質審査規制法(化審法)	監視化学物質
化管法(1種)	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)	第一種指定化学物質 (対象となる462物質をCAS番号で登録した2388物質を登録)
化管法(2種)	同上	第二種指定化学物質

「50-00-0」で検索した場合の結果を例示。有害性情報源へのリンクが掲載される。

検索結果

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

◆

■

●

▲

ケミコ chemi co 環境省 化学物質情報検索支援システム

ここから探せる 化学物質情報

化学物質情報検索 化学物質解説リンク集 専門用語リンク集 日常生活と化学物質 リクエストフォーム

化学物質情報検索 法令・適用区分から検索 身の回りの製品から検索 (リスト版)

1 化学物質関連 2 関連法律概要 3 該当化学物質検索結果 4 データベース一覧

化学物質名
ホルムアルデヒド

この物質に関する法規制等 化学物質の別名

化学物質審査規制法(化審法) 優先評価化学物質 法律の説明

メタノン
ホルモール

表 国内外法規制情報における検索対象法令の一覧

【 国内法令における規制対象物質一覧 】

検索結果での略称	法令等の名称	検索対象
化審法(優先評価)	化学物質審査規制法（化審法）	優先評価化学物質
化審法(1 特)	化学物質審査規制法（化審法）	第一種特定化学物質
化審法(2 特)	化学物質審査規制法（化審法）	第二種特定化学物質
化審法(監視化学物質)	化学物質審査規制法（化審法）	監視化学物質
化管法(1 種)	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）	第一種指定化学物質 （対象となる 462 物質を CAS 番号で展開した 824 物質を登録）
化管法(2 種)	同上	第二種指定化学物質 （対象となる 100 物質を CAS 番号で展開した 128 物質を登録）
安衛法(名称公表)	労働安全衛生法（安衛法）	（規制対象というわけではなく、安衛法において名称が公表されている物質）
安衛法(表示義務)	同上	安衛法第 57 条に係る対象物質 （対象となる 107 物質を CAS 番号で展開した 1028 物質を登録）
安衛法(文書交付義務)	同上	安衛法第 57 条の 2 に係る対象物質 （対象となる 640 物質を CAS 番号で展開した 2103 物質を登録）
安衛法(特化則)	同上	特定化学物質障害予防規則
安衛法(有機則)	同上	有機溶剤中毒予防規則
毒劇法	毒物及び劇物取締法（毒劇法）	劇物、毒物
農取法（登録保留基準設定農薬）	農薬取締法	水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準、水質汚濁に係る農薬登録保留基準
農取法（水質汚濁性農薬）	農薬取締法	水質汚濁性農薬
農取法（ゴルフ場農薬指針）	農薬取締法	ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針
農取法（公共用水域水質指針）	農薬取締法	公共用水域等における農薬の水質評価指針
消防法	消防法	危険物
有害家庭用品規制法	有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律（有害家庭用品規制法）	有害物質
大防法(特定物質)	大気汚染防止法（大防法）	特定物質
大防法(指定物質)	同上	指定物質
大防法(優先取組物質)	同上	優先取組物質
大防法(有害大気汚染物質)	同上	有害大気汚染物質
水濁法(生活環境項目)	水質汚濁防止法（水濁法）	生活環境項目
水濁法(健康項目)	同上	健康項目
土対法	土壤汚染対策防止法	特定有害物質（第 1 種、第 2 種、第 3 種）
環境基準（大気）	環境基本法	大気環境基準
環境基準（水質）	環境基本法	水質環境基準
環境基準（地下水）	環境基本法	地下水環境基準
環境基準（土壌）	環境基本法	土壌環境基準
食品衛生法（指定添加物）	食品衛生法	指定添加物（規則別表第 1）
水道法（水質基準）	水道法	水質基準

※ 1 項目に複数の規制対象が含まれる場合、リンク先の HP で詳細を確認してください。

【 海外法令における規制対象物質一覧 】

検索結果での略称	法令等の名称	検索対象
国連番号国連危険物分類	国連番号（UN Number）／国連危険分類（UN Hazard Class）	（法規制対象というわけではなく、危険物の安全輸送を確保するための輸送要件の国際調和を図るための番号）
EU REACH （Authorisation List）	EU：REACH	Authorisation List（認可物質リスト）
EU REACH （Candidate List of SVHC）	EU：REACH	Candidate List of Substances of very high concern（SVHC 候補物質リスト）
米国 TSCA （重要新規利用規則(SNUR)）	米国：有害物質規制法(TSCA)	重要新規利用規則（SNUR）
米国 TSCA （有害な化学物質及び混合物の規制）	同上	有害な化学物質及び混合物の規制（TSCA 第 6 条）
韓国有害化学物質管理法（取扱禁止物質）	韓国：有害化学物質管理法	取扱禁止物質
韓国有害化学物質管理法（取扱制限物質）	韓国：有害化学物質管理法	取扱制限物質
韓国有害化学物質管理法（事故警戒物質）	韓国：有害化学物質管理法	事故警戒物質
台湾 毒性化学物質管理法	台湾：毒性化学物質管理法	第一類毒性化学物質、第二類毒性化学物質、第三類毒性化学物質、第四類毒性化学物質、
ベトナム化学品法	ベトナム：化学品法（Number of Articles of the Chemical Law No. 06/2007/QH12）	生産・商売に条件のある化学物質、生産・商売に制約のある物質、禁止化学物質、事故防止・対応計画を要する化学物質、申告を要する化学物質
インドネシア政府法令 2001 年第 74 号	インドネシア：危険及び有毒な物質の管理に関する政府法令 2001 年第 74 号	使用可能、禁止、制限に係る物質
タイ有害物質法	タイ：有害物質法（工業省工場局所管分）	有害物質（第 1 種～第 4 種）
OECD 高生産量化学物質(HPV Chemicals)	OECD：高生産量化学物質（HPV Chemicals）	（法規制対象というわけではなく、OECD において高生産量化学物質に位置づけられたもの）
POPs（ストックホルム）条約	POPs（ストックホルム）条約	Annex A, B, C に記載されている物質

※ 1 項目に複数の規制対象が含まれる場合、リンク先の HP で詳細を確認してください。

3.3 リンク集

① 機能

- 有害性評価やばく露評価、海外法規制等に関する国内外の有益な情報源をまとめた「解説付きリンク集」です。

※一部、会員限定のコンテンツがありますので、会員の方はログインしてからご覧ください。

② 利用目的

- 有害性情報 DB ポータル等からの情報よりもより詳しく調べたい、一次情報を確認したい等の場合にご利用ください。

③ 使い方

- 有害性評価やばく露評価等に関する国内外の有益な情報源へのリンクをリスト化しています。クリックすることで外部の情報源に移動します。
- また、有害性情報源については、各情報源の解説を別ページに掲載しておりますので、それを参考として情報源を探すことも可能です。

リンク集 (旧形式のリンク集は、[こちら](#))

リンク集の一部については、会員限りの公開となっております。
会員の方は、右側のメニューからログインして、ご利用ください。

ユーザID

パスワード

ログイン

有害性評価関連情報

- 国内外の有害性情報源
- 化審法個別物質情報
- 参考情報
- 情報源情報
- GHS分類ガイダンス (GHS関係省庁連絡会議)

ばく露評価関連情報

- REACH Use Descriptor 一覧
- ECETOC TRA (v.3.1)

法規制情報

- 海外法規制情報

GHS情報

- 海外GHS情報

一番左の見出しから、主なコンテンツにすぐに移動できます。

なお、有害性評価関連情報の参考情報にある「情報源情報」では、有害性情報源と掲載物質の対応表をまとめているので、探したい物質がどの情報源にあるのかを探す場合にご利用ください。

※リンク先のデータについてはデータ所有者の許諾が必要になる場合があるため、免責事項（本ページの一冊下に掲載）をご確認ください。
情報源の優先順位については[こちら](#)をご覧ください。

※人健康有害性に関する情報源の解説は、[こちら](#)

国、地域等	機関	情報源名	GHS分類ガイダンスでの優先順位	化審法スクリーニング評価での優先順位	有害性項目掲載の有無	キースタディの有無	参考】ITE/IPからリンク有無
			人健康有害性	水生環境有害性	人健康、生態影響、一般毒性、生殖発生毒性、変異原性		

解説ページにジャンプ

人健康有害性に関する情報源の解説

1-1 (一財)化学物質評価研究機構(CERI)、(独)製品評価技術基盤機構(NITE)：化学物質の初期リスク評価書

「初期リスク評価書」は、NEDO事業で開発された初期リスク評価手法に基づいて作成された評価書です。評価手法については、「初期リスク評価指針」及び「初期リスク評価書作成マニュアル」として公表されています。要約「7. 環境中の生物への影響」「8. ヒト健康への影響」「9. リスク評価」の項目にNOAEL等の有害性データに関する記述があります。「概要版」も利用できます。また、発がん性の場合、ユニットリスクやスロープファクターにも言及しています。

「化学物質有害性評価書」は、文献調査等から得られた化学物質安全性情報を基に作成し、有識者からなる委員会での審議を経て公表された化学物質の評価書です。「環境中生物への影響」「ヒト健康への影響」などの項目にNOAEL等の有害性データに関する記述があります。(※現在「有害性評価書」のリストはwebでは閲覧できません。CHRPの物質データからリンクされています。)

<http://www.safe.nite.go.jp/risk/riskhydd01.html>

3. 4 資料集

① 機能

- ✧ リスク評価から安全性要約書の作成・登録までをサポートする「各種コンテンツ・資料集」です。

※一部、会員限定のコンテンツがありますので、会員の方はログインしてからご覧ください。

② 利用目的

- ✧ 日化協でのセミナー資料等を掲載しておりますので、リスク評価ツールの使用方法や GSS の作成方法、ICCA のサイトへのアップロード方法等について調べたい場合にご利用ください。

③ 使い方

- ✧ GPS/JIPS セミナー（実践編）、同（導入編）などの資料を掲載しておりますので、閲覧したい資料を選択してください。すべて PDF 形式で閲覧可能です。安全性要約書の作成方法のほか、作成事例としてトルエン、プロピレン、エチレンの3事例も掲載しています。
- ✧ また、欧州の GES、SPERC 一覧や、REACH における使用記述子及び SPERC に関する説明資料、GPS 安全性要約書の作成支援のためのばく露及び管理措置に関するフレーズ集、不確実係数設定方法の比較表なども掲載しています。

資料集

ユーザID
パスワード
ログイン

一番左の見出しから、各コンテンツにすぐに移動できます。

セミナー資料

- ▼ [GPS/JIPSセミナー（導入編）](#)
- ▼ [GPS/JIPSセミナー（実践編Ⅱ）](#)

関連資料

- ▼ [欧州のGES、SPERC一覧](#)
- ▼ [REACHにおける使用記述子及びSPERCに関する説明資料](#)
- ▼ [GPS安全性要約書の作成支援のためのばく露及び管理措置に関するフレーズ集（日本語版、英語版（NEW））](#)
- ▼ [不確実係数設定方法の比較表](#)

GPS/JIPSセミナー（導入編）【2013/11/22、2013/12/13】

- [セミナープログラム](#)
- [国際的な化学品管理の動向とGPS/JIPSの概要](#)
- [リスクアセスメント概要](#) 【会員限定】
- [リスクアセスメント事例（トルエン）](#) 【会員限定】
- [GPS/JIPS安全性要約書作成（トルエン）](#) 【会員限定】
- [GPS/JIPS 安全性要約書（トルエン）](#) 【会員限定】
- [GPS/JIPS 安全性要約書（エチレン）](#) 【会員限定】
- [GPS/JIPS 安全性要約書（プロピレン）](#) 【会員限定】
- [リスク評価支援システムJCIA BIGDr紹介](#) 【会員限定】
- [GPS/JIPSコンサルタント会社紹介](#) 【会員限定】
- [参考資料](#)
- [ICCAグローバルプロダクト戦略](#)

PAGE TOP

GPS/JIPSセミナー（実践編Ⅱ）【2013/2/7、2013/2/18、2013/2/22】

- [セミナープログラム](#)
- [GPS/JIPS の概要と進捗状況](#)
- [GPS/JIPSリスクアセスメント・ECETOC-TRAの活用](#) 【会員限定】

3. 5 リスクアセスメント実践

① 機能

- ✧ BIGDr の各種機能を活用した、リスク評価から GSS（GPS 安全性要約書）作成までの流れをまとめたページです。
 - ✧ 「GSSMaker 統合版」(リスクアセスメントと安全性要約書作成のための支援ツール。環境、消費者、作業者のリスクアセスメントを実施可能。) 及び「GSSMaker Worker Tool」(作業者リスクアセスメントに特化したツール) それぞれについて、リスクアセスメントの実施方法をまとめています。(各ツールについては 3.6 節参照。)
 - ✧ また、リスクアセスメントの結果、懸念あり (RCR⁴ >1) となった場合や有害性評価値の算定方法など、ユーザーが迷いやすい箇所を中心に支援内容をまとめています。
- ※一部、会員限定のコンテンツがありますので、会員の方はログインしてからご覧ください。

② 利用目的

<GSSMaker 統合版について>

- ✧ リスクアセスメントから安全性要約書の作成までの手順を知りたい場合
- ✧ リスクアセスメントの結果、RCR>1 となった場合 (リスクアセスメントの結果、RCR>1 となったが、対処方法が分からない場合)
- ✧ 有害性評価値の算定方法を知りたい場合 (GSSMaker の入力データである有害性評価値の算定方法を知りたい場合)
- ✧ ECETOC TRA Tool の FAQ を参照したい場合 (GSSMaker のベースになっている ECETOC TRA Tool について詳しく知りたい場合や FAQ を確認したい場合)

<GSSMaker Worker Tool について>

- ✧ GSSMaker Worker Tool のハザード情報を効率的に収集したい場合 (GSSMaker Worker Tool の入力データである有害性評価値、許容濃度、職業ばく露限界値等のハザード情報を効率よく検索したい場合)
- ✧ PROC (プロセスカテゴリ) を適切に選択したい場合 (GSSMaker Worker Tool で作業者ばく露シナリオを作成するために必要となる PROC について、適切な PROC を選択することが難しいと思われる場合)

③ 使い方

<リスクアセスメントから安全性要約書の作成までの手順を知りたい場合>

- ✧ GSSMaker 統合版の「1. リスク評価から GSS 作成までの流れ」に、BIGDr の各種機能を活用した場合のリスク評価から GSS 作成までの流れを図にまとめておりますので、ご参照ください。

⁴ RCR : Risk Characterization Ratio, リスク判定比。

<リスクアセスメントの結果、RCR>1 となった場合>

- ☆ GSSMaker 統合版の「2. TRA 計算において RCR>1 となった場合のチェックポイント」に RCR>1 となった場合の対処のポイントをまとめておりますので、ご参照ください。
- ☆ また、TRA 計算において作業ばく露の RCR>1 となった場合には、「3. TRA 計算において作業ばく露の RCR が 1 を超えた場合について」に、作業ばく露シナリオの選択肢の感度解析を行った結果をまとめておりますので、適切な作業ばく露シナリオを選定するための参考としてください。

<有害性評価値の算定方法を知りたい場合>

- ☆ GSSMaker 統合版の「4. キースタディからの有害性評価値の算定方法」に掲載されている PDF ファイルをご参照ください。
- ☆ 環境リスク初期評価（環境省）、初期リスク評価書（NITE/CERI）、「SIDS」（OECD）といった各種リスク評価書の記載内容から有害性評価値を算定する方法をまとめています。

<ECETOC TRA Tool の FAQ を参照したい場合>

- ☆ GSSMaker 統合版の「5. ECETOC TRA Tool の FAQ 日本語訳」に掲載されている PDF ファイルをご参照ください。
- ☆ ECETOC TRA Tool の FAQ を日本語で参照することが可能です。

<GSSMaker Worker Tool のハザード情報を効率的に収集したい場合>

- ☆ GSSMaker の入力データである有害性評価値は、NOAEL 等をアセスメントファクターで除することで算定されますが、作業ばくリスクアセスメントツールである GSSMaker Worker Tool では、許容濃度や OEL（職業ばく露限界値）を有害性評価値の代替としてそのまま利用することが可能です。
- ☆ そこで、GSSMaker Worker Tool の「1. 安衛法ハザード情報 検索早見表」をご参照ください。安衛法のリスク評価対象物質である 640 物質について、データベースごとの許容濃度や OEL の掲載状況を星取表にまとめております。

<PROC（プロセスカテゴリ）を適切に選択したい場合>

- ☆ GSSMaker Worker Tool の「2. PROC（プロセスカテゴリ）の選び方」をご参照ください。PROC に関する最新の解説表のほか、PROC 選定フロー/チェックリストを掲載しておりますので、これらを活用して適切な PROC を選択してください。

リスクアセスメント実践

ログインした状態の画面を示しています。

GSSMaker統合版

1. リスク評価からGSS作成までの流れ
2. TRA計算においてRCR>1となった場合のチェックポイント
3. TRA計算において作業ばく露のRCRが1を超えた場合について
4. キースタディからの有害性評価値の算定方法
(環境省：環境リスク初期評価、NITE/CERI等：初期リスク評価書、OECD：SIDS)
5. ECETOC TRA ToolのFAQ日本語訳

GSSMaker Worker Tool

1. 安衛法ハザード情報 検索早見表
2. PROC (プロセスカテゴリ) の選び方

GSSMaker統合版

1. リスク評価からGSS作成までの流れ

BIGDrの各種機能を活用した、リスク評価からGSS作成までの流れを以下の図にまとめましたので、ご参照ください。

1. 1 JIPSにおけるリスク評価からGSS作成までの基本的な流れ

ステップ1：リスクアセスメントを行う物質を選択する

1. 自社が販売する、又は製造事業所外に輸送する化学品のリストを作成。
2. リスクアセスメントを実施する必要のない化学品に該当するかどうかを確認。



ステップ2：情報を収集する

【収集する情報】

- **標準パラメータ**：化学品の名称や構造式等の一般情報、物化性状等。
- **ハザード情報**：あらかじめ定めた健康及び環境のエンドポイントに基づく、各物質に固有の情報。
- **ばく露情報**：各適用/使用及び各企業に固有の情報。ばく露カテゴリに基づき、使用によって異なる情報。

左の見出しから、各コンテンツにすぐに移動できます。
目的に応じたコンテンツを選択してください。

Drの有害性情報DB

- 情報の質の評価：BIGDrリンク集の有害性情報源に記載されている、情報源の優先順位を参照。優先順位

2. PROC (プロセスカテゴリ) の選び方

ここでは、GSSMaker Worker Toolの作業ばく露シナリオを設定する際に必要となるPROC (プロセスカテゴリ) の最新の解説表や選定支援フロー/チェックリストをまとめています。

そもそもPROCとは、EU REACH規則において作業ばく露評価を行うために規定されているもので、作業現場における計28種類の典型的な作業プロセスで構成されています。

例えば、PROC7は工業用スプレーを使う作業、PROC10はローラー・ブラッシング作業に対応付けられています。

GSSMaker Worker ToolではこれらのPROCを選択し、その他の条件を設定することにより、作業者のばく露量を推定することが可能となります。

(1) PROCに関する最新の解説表 (2015/7/10改訂案)

REACH CSA Guidance R.12の最新の改訂案 (2015/7/10改訂版) がEU ECHAより公表されておりますので、その一覧表を以下に示します。これまでのPROCの説明よりも詳しく解説されておりますので、PROCを選定する際の参考にしてください。

※本解説表は、EU ECHA (欧州化学品庁) が公開しているPROC解説表 (PDFファイルのp.50) に記載されているPROC解説表をみずほ情報総研が一部文言を補正しながら和訳したものです。

PROC No.	名称	説明及び例示
PROC1	ばく露の見込みのない閉鎖系プロセスにおける化学製品の製造・精製及び同等の閉鎖系プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 化学産業の閉鎖系プロセスにおける化学物質や混合物の製造作業。 本閉鎖系プロセスにおける物質の移し替え (充填や排出等) や閉鎖系でのサンプリングは、本PROCに含まれる。一方、開放系での物質の移し替え (充填や排出等) は、本PROCには含まれない。 (※PROC8a/8b参照。)
PROC2	管理された状態での定期的なばく露を伴う閉鎖系 (連続) プロセスにおける化学製品の製造・精製及び (他分野での) 同等の閉鎖系プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 化学産業の閉鎖系プロセスにおける (限定的な手作業が介在する連続プロセスでの) 化学物質や混合物の製造作業。 (化学産業以外の産業における) 化学産業と同程度の閉鎖系 (連続) プロセスも本PROCに含まれる。 本プロセスに関わる閉鎖系での物質の移し替えや閉鎖系でのサンプリングは、本PROCに含まれる。一方、開放系での物質の移し替え (充填/排出) は、本PROCには

3. 6 リスクアセスメントツール

① 機能

- ✧ リスク評価を行うための ECETOC TRA ツールは初心者には扱いづらいため、日本語（または英語）で直感的に扱うことのできる「GSSMaker 統合版」及び「GSSMaker Worker Tool」を用意しております。
 - ✧ 「GSSMaker 統合版」では、リスク評価から安全性要約書（GSS）の作成までを一括支援する機能を備えています。
 - ✧ 「GSSMaker Worker Tool」では、作業者リスクアセスメントの実施からリスクアセスメントの結果を出力するまでの機能を備えています。
 - ✧ いずれのツールにも日本語版と英語版があります。機能はどちらも同じですので、利用する言語にあわせてダウンロードしてください。
- ※会員限定のコンテンツとなりますので、会員の方はログインしてからご覧ください。

② 利用目的

<GSSMaker 統合版について>

- ✧ 環境、消費者、作業者それぞれのリスクアセスメントを一括して実施したい場合
- ✧ GPS 安全性要約書を作成したい場合

<GSSMaker Worker Tool について>

- ✧ 作業者リスクアセスメントをしたい場合（GSSMaker 統合版に比べて入力パラメータが少なく済みます）
- ※GSSMaker Worker Tool は改正安衛法で義務付けられることになるリスクアセスメントにも対応しております。

③ 使い方

<ツールの利用手順書>

- ✧ GSSMaker 統合版、GSSMaker Worker Tool いずれも利用手順書を用意していますので、その手順書に沿ってツールをダウンロードしてお使いください。
- ✧ おおよその手順は以下の通りです。
 - ・ GSSMaker（統合版または Worker Tool）と ECETOC TRA Tool をダウンロード
 - ・ GSSMaker に、物質名、物化性状、有害性評価値等のデータを入力（いくつかの物質については物質 DB にデフォルト値が用意されています）。
 - ・ GSSMaker でばく露シナリオを設定（PROC や作業条件等をプルダウンから選択）。
 - ・ 計算実行ボタンを押下（ECETOC TRA Tool を自動的に実行し、リスク評価結果を出力します。）
 - ・ RCR(リスク判定比) < 1 であれば、GSSMaker 統合版の場合には GPS 安全性要約書の出力を、GSSMaker Worker Tool ではリスク評価結果として化学物質安全情報の出力をそれぞれ実施してください。

<ツールの Q&A>

- ☆ GSSMaker の統合版、Worker Tool いずれも Q&A を用意しておりますので、適宜ご参照ください。
- ☆ 特に Worker Tool では、ハザード情報の収集からリスク評価、作業者周知のためのプリントアウトに至るまでの全体フローをまとめているほか、BIGDr の各支援機能の活用方法や行き詰まった時のヒントなどを掲載しております。
- ☆ ご不明な点等がございましたら、BIGDr の右上にある「お問い合わせ」から BIGDr ヘルプデスクまでお気軽にお問い合わせください。

<ツールを利用する場合の基本的な流れ>

- ☆ 参考までに GSSMaker 統合版を利用する場合の基本的な流れを以下にお示しします。

- リスクアセスメントツール

GSSMaker統合版

- [GSSMakerのダウンロード](#)
- [GSSMakerの利用手順](#)
- [GSSMakerのQ&A](#)

GSSMaker Worker Tool

- [GSSMaker Worker Toolのダウンロード](#)
- [GSSMaker Worker Toolの利用手順](#)
- [GSSMaker Worker Toolを活用した作業者リスクアセスメントに関するQ&A](#)

[著作権、免責事項等について](#)

GSSMaker統合版

1. GSSMaker、ECETOC TRA Toolのダウンロード

① GSS Maker のダウンロード

GSSMakerは以下のファイルマークをクリックすればダウンロードできます。（Zip形式）

[GSSMaker_3.1jp_v1d_20150619.zip \(TRA3.1対応・日本語版\)](#)
[GSSMaker_3.1en_v1e_20150624.zip \(TRA3.1対応・英語版\)](#)

前回リリースからの更新内容は以下の通りです。

更新日付	更新内容	日本語版のファイル	英語版のファイル
2014/09/27	・ ECETOC TRA3.1がリリースされたことに伴い、GSSMakerをTRA3.1に対応しました。 ・ 自動作成したGSSのシートにはく露、リスク管理措置についてのフレーズの選択肢を表示し、利用者が選択肢を参照して入力できるようにしました。	GSSMaker_3.1_v1c_140917.zip	—
2014/12/11	・ 環境ばく露評価の設定/パラメータであるSPERCコードについて、選択可能なコードを明示するとともに、各コードの説明を参照できるようにしました。 ・ TRA計算結果がRCR≧1.0となった場合のチェックポイントを表示するようにしました。	GSSMaker_3.1_v1d_141217.zip	—
2015/04/16	・ lognowの値のチェック、基準値で未入力項目がある場合のチェックロジックを修正しました。 ・ 英語版をリリースしました。	GSSMaker_3.1jp_v1d_150416.zip	GSSMaker_3.1en_v1e_150416.zip
2015/04/28	・ 英語版の細かな不具合を修正しました。	GSSMaker_3.1jp_v1d_150416.zip	GSSMaker_3.1en_v1e_150428.zip

まず初めに、GSSMaker と ECETOC TRA Tool をダウンロードしてください。

② ECETOC TRA Tool のダウンロード

GSSMakerを動かすためには、ECETOC TRA Toolもダウンロードしておく必要があります。
以下のECETOCのホームページからダウンロードしてください。
(画面右側の緑のボタン「Download Integrated Tool」を押してください。)

詳しくは、セミナー資料をご覧ください。
<http://www.ecetoc.org/tra>
http://www.kisa-biadr.jp/kisa-biadr/userDoc/seminar/2_ecetoc_tra.pdfをご覧ください。

※ ECETOC TRA Tool を立ち上げる際の注意点が上記セミナー資料のp271に掲載されています。
初めて使用される方は、そのページを確認の上、使用することを推奨します。

PAGE TOP

次ページへ

2. GSSMakerの利用手順

GSSMakerの利用手順は、以下のPDFファイルで一括して参照することも可能です。

[GSSMaker利用手順書\(紙版\)](#)

利用手順書やヘルプシートを参照しながら利用してください。

STEP (1) TRAツールのダウンロード

●TRAツールを上記を参照してダウンロードしてください。

●詳しくは、以下の手順書をご覧ください。

[GSSMaker利用手順書 STEP\(1\)](#)

STEP (2) TRAツールの保存場所の入力

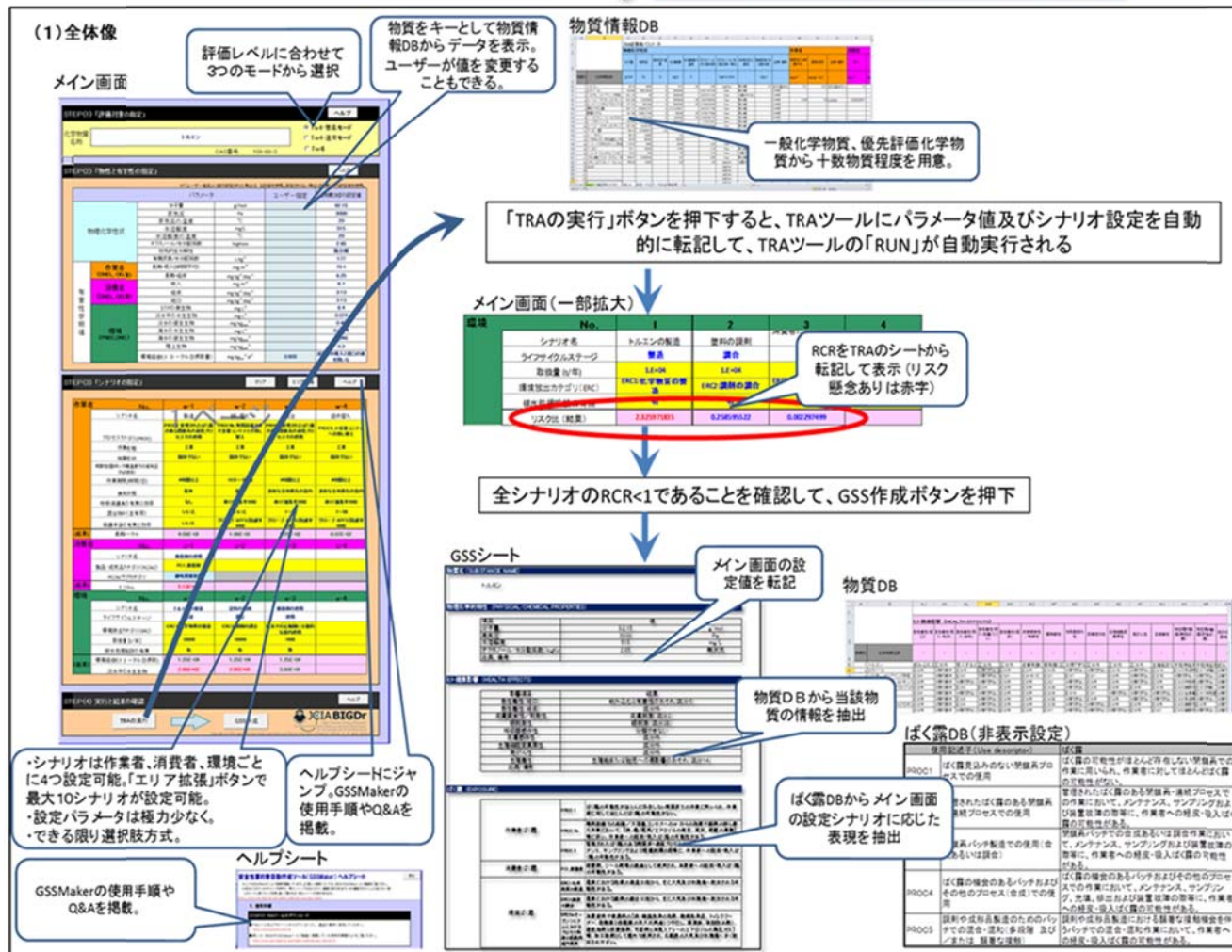
●ダウンロードしたTRAツールの置き場所(フォルダのアドレス)を、シート「設定」の「TRA ver.3 のパス」の欄(セルD4)に入力してください。

(仮の値が入っていますが、上書きしてください。)

●詳しくは、以下の手順書をご覧ください。

[GSSMaker利用手順書 STEP\(2\)](#)

具体的なGSSMakerの利用イメージは以下の通り。



3. 7 作業者リスクアセスメント

① 機能

- ☆ ここでは、安衛法改正対応などの作業者リスクアセスメントを行うための各種支援機能をまとめています。
 - ☆ 具体的には以下のような機能があります。各支援機能の詳細についてはリンク先のページでご確認ください。
 - ・ GSSMaker Worker Tool : ECETOC TRA Tool をベースとして開発された日本語版の作業者リスクアセスメントツール。
 - ・ 安衛法ハザード情報 検索早見表 : 安衛法 640 物質のハザード情報を効率よく検索するためのデータベース星取表。
 - ・ PROC (プロセスカテゴリ) の選び方 : GSSMaker Worker Tool の作業者ばく露シナリオを設定する際に必要となる PROC の選定支援機能。
 - ・ GSSMaker Worker Tool の Q&A : GSSMaker Worker Tool の使い方だけでなく、作業者リスクアセスメントのフロー、各支援機能の活用方法、行き詰まった時のヒントなどをまとめた Q&A。
- ※一部、会員限定のコンテンツとなりますので、会員の方はログインしてからご覧ください。

② 利用目的

- ☆ 安衛法対応など、作業者リスクアセスメントを実施したい場合に、本ページの機能をご活用ください。具体的には以下のような利用目的が挙げられます。
 - ・ 作業者リスクアセスメントツールを使いたい場合
 - ・ (作業者リスクアセスメントに必要となる) ハザード情報を入手したい場合
 - ・ (作業者リスクアセスメントに必要となる) 適切な PROC (プロセスカテゴリ) を選定したい場合
 - ・ 作業者リスクアセスメントの Q&A を参照したい場合

③ 使い方

<作業者リスクアセスメントツールを使いたい場合>

- ☆ 「GSSMaker Worker Tool」の「ダウンロード」のリンクで移動した後、本ツールをダウンロードしてご活用ください。ただし、会員限定コンテンツのため、会員の方はログインしてからご活用ください。

<ハザード情報を入手したい場合>

- ☆ 「安衛法ハザード情報 検索早見表」のリンクで移動した後、安衛法のリスク評価対象物質である 640 物質について許容濃度や OEL (職業ばく露限界値) のデータベース掲載状況をまとめた星取表「安衛法ハザード情報 検索早見表」をご活用ください。
- ☆ 本機能は、一般公開されています。

<適切な PROC（プロセスカテゴリ）を選定したい場合>

- ☆ 「PROC（プロセスカテゴリ）の選び方」で移動した後、「PROC に関する最新の解説表」や「PROC 選定フロー/チェックリスト」を活用して、適切な PROC を選択してください。ただし、PROC 選定フロー/チェックリストは会員限定コンテンツのため、会員の方はログインしてからご活用ください。

<作業者リスクアセスメントの Q&A を参照したい場合>

- ☆ 「GSSMaker Worker Tool の Q&A」で移動した後、各 Q&A の内容をご確認ください。GSSMaker Worker Tool の使い方だけでなく、作業者リスクアセスメントのフロー、各支援機能の活用方法、行き詰まった時のヒントなどをまとめております。ただし、会員限定コンテンツのため、会員の方はログインしてからご活用ください。

ログインした状態の画面を示しています。

- 作業者リスクアセスメント

作業者リスクアセスメントツールを使いたい場合（会員限定）

●GSSMaker Worker Tool：安衛法等の作業者リスクアセスメントツール

[ダウンロード](#)

[使い方（利用手順書）](#)

[安衛法ハザード情報 検索早見表](#) [ハザード情報を入手したい場合（一般公開）](#)

●PROC（プロセスカテゴリ）の選び方：GSSMaker Worker Tool の作業者ばく露シナリオを設定する際に必要となるPROCの選定支援機能

[PROCに関する最新の解説表](#) [適切な PROC（プロセスカテゴリ）を選定したい場合（一部会員限定）](#)

[PROC選定フロー/チェックリスト](#)

[GSSMaker Worker ToolのQ&A](#) [作業者リスクアセスメントの Q&A を参照したい場合（会員限定）](#)

3. 8 混合物リスクアセスメント

① 機能

- ✧ ここでは、混合物に関するリスク評価を行うための各種支援機能をまとめています。
 - ✧ 具体的には現在、以下のような機能を整備しています。各支援機能の詳細についてはリンク先のページでご確認ください。
 - ・ JIPS 混合物リスク評価のためのガイドンス：混合物リスク評価の手法や手順をまとめたガイドンスです。具体的な評価事例もあわせて掲載しています。
 - ・ リード物質選定ツール：混合物リスク評価にあたって、評価すべき物質を選定するためのツールです。利用手順書もあわせて掲載しています。
- ※会員限定のコンテンツとなりますので、会員の方はログインしてからご覧ください。

② 利用目的

- ✧ 混合物のリスク評価を実施したい場合に、本ページの機能をご活用ください。

③ 使い方

<JIPS 混合物リスク評価のためのガイドンス>

- ✧ JIPS 混合物リスク評価のためのガイドンスのページに掲載されている PDF ファイルをご覧ください。ただし、会員限定コンテンツのため、会員の方はログインしてからご活用ください。
- ✧ 国際的に普及している GHS 分類を用いるため、日本の事業者にとってもリード物質の選定基準がわかりやすく、実用的に利用しやすいのが特徴です。
- ✧ また、ガイドンスでは、混合物リスク評価の方法に加え、海外の方法との比較、評価事例等も掲載されています。

- 混合物リスクアセスメント

ここでは、混合物リスクアセスメントを行うための支援機能をまとめています。

JIPS混合物リスク評価のためのガイドンス

会員企業より要望の多い混合物のリスク評価手法について、ガイドンスを作成しましたので、会員向けに公開します。

JIPS混合物リスク評価のためのガイドンス(2015年10月)

本リスク評価手法（GHS法）では、リスク評価を行いたい混合物において、混合物のGHS分類に寄与する物質を評価すべき成分物質（リード物質）に選定し、リード物質それぞれリスク比（RCR）を加算することでリスク判定を行います。

国際的に普及しているGHS法に基づいた評価手法であり、実用的に利用しやすいのが特徴です。

本ガイドンス

ここをクリックすると、ガイドンスの PDF ファイルが開きます。

<リード物質選定ツール>

- ✧ 混合物リスク評価にあたって、評価すべき物質を選定するためのツールです。
- ✧ 本ツールの利用にあたってはまず利用手順書をご覧ください。

①リード物質選定ツールのダウンロード

[LeadSelector_v0.9_20160118.zip](#)

zipに含まれるファイルは以下の通りです。

- ・LeadSelector_v0.9_20160118.xlsm : リード物質選定ツール
- ・LeadSelectorHelp.chm : リード物質選定ツール利用手順書

ここをクリックすると、「リード物質選定ツール」をダウンロードできます。

②リード物質選定ツール利用手順書のダウンロード

[リード物質選定ツール利用手順書](#)

ここをクリックすると、「リード物質選定ツール利用手順書」を閲覧できます。

3. 9 ICCA 掲載安全性要約書

① 機能

- ✧ 安全性要約書（GPS/JIPS 安全性要約書）とは、自社で製造販売する化学品に関する GPS/JIPS 検討結果（リスク評価結果等）をわかりやすい書式でまとめたものです。
- ✧ ICCA (国際化学工業協会協議会) のホームページに掲載されている安全性要約書のうち「日本企業が作成した GPS 安全性要約書へのリンク」の一覧を掲載しています。

② 利用目的

- ✧ ICCA のサイトは英語で記載されており、検索システムもやや使いづらいことから、日本企業の作成した安全性要約書を効率よく検索・参照したい場合にご利用ください。

③ 使い方

- ✧ 日本企業の作成した安全性要約書（ICCA へのリンク）が、物質別または企業別、CAS 番号別にリスト化されていますので、リストの中から該当する安全性要約書を検索してください。
- ✧ 情報の更新時点、安全性要約書の掲載件数については、表の左上に掲載しています。
- ✧ 安全性要約書の言語が日本語以外（英語やドイツ語等など）の場合には、【 】書きで言語名を記載しています。

安全性要約書 物質別リスト (物質名称順)

安全性要約書（GPS/JIPS安全性要約書）とは、自社で製造販売する化学品に関する GPS/JIPS検討結果（リスク評価結果等）をわかりやすい書式でまとめたものです。

ここでは、国際化学工業協会協議会（ICCA）のホームページに掲載されている安全性要約書のうち、日本企業が作成したGPS安全性要約書へのリンクの一覧を掲載しています。物質名別、CAS番号別、企業別に掲載しておりますので、日本企業が作成した安全性要約書を 効率よく検索・参照することができます。

CAS番号順表示は、[こちら](#)
企業別表示は、[こちら](#)

CAS 番号順や企業名称順に閲覧したい場合にはこちらを選択してください。

387件表示 【2015/08/20時点】

物質名称	CAS番号	EINECS番号	企業名
(3R,4R)-4-Acetoxy-3-[(R)-1-(tert-butyl)dimethylsilyloxy]ethyl]-2-azetidinone	76855-69-1		Nippon Soda Co., Ltd. (日本曹達株式会社)
1,2,3-Propanetriol, triacetate	102-76-1		Daicel Corporation
1,2-Ethanediamine	107-15-3		TOSOH CORPORATION (東ソー株式会社)
1,2-Ethanediol	107-21-1		NIPPON SHOKUBAI CO., LTD. (株式会社日本触媒) Mitsubishi Chemical (三菱化学株式会社) 【英語】 Mitsui Chemicals, Inc. (三井化学株式会社) Mitsubishi Chemical (三菱化学株式会社)
1,3,5-Triazine-2,4,6-			Chemicals, Inc. (三井化学株式会社)
1,3-Benzenedimetha			BISHI GAS CHEMICAL CO., INC. (三菱ガス化学株式会社) omo Chemical Co., Ltd. (住友化学株式会社) 【英語】
1,3-Benzenediol			omo Chemical Co., Ltd. (住友化学株式会社)
1,3-Butadiene			omo Chemical Co., Ltd. (住友化学株式会社) JSR Corporation (JSR株式会社)

リンクをクリックすれば、ICCA のサイトや企業 HP に掲載されている安全性要約書にジャンプします。

日本語以外の場合には【 】書きで言語名を記載しています。

3. 10 GPS/JIPS コンソーシアムと安全性要約書のドラフト

① 機能

- ☆ 日化協が推進する GPS/JIPS 活動の一環として、GPS/JIPS コンソーシアムが作成した安全性要約書のドラフトの一覧を掲載しています。
- ☆ 『GPS/JIPS コンソーシアム』とは、化学物質のリスク評価および安全性要約書作成に係る共通課題を協働で解決することを目的として、対象の化学物質ごとに日化協の会員企業有志で構成されたグループです。
- ☆ 安全性要約書は、最終的には個社の責任で公開するものであり、個社の状況に合わせて内容を吟味する必要があることから、安全性要約書のドラフトの記載は最大公約数的な範囲になっています。この点をご理解頂き、貴社の安全性要約書の作成にご活用ください。

② 利用目的

- ☆ 安全性要約書を作成する場合に、本ドラフトをご活用ください。(なお、ドラフトの活用にあたっては、あらかじめ GSSMaker 等によるリスク評価を実施してリスクの懸念がないことを確認しておく必要があります。)

③ 使い方

- ☆ 一覧表には、GPS/JIPS コンソーシアムの作成した安全性要約書の PDF ファイルが掲載されていますので、それらを安全性要約書の作成にご活用ください。
- ☆ 掲載対象物質は順次追加していく予定です。また、GPS/JIPS コンソーシアムに参加されたい会員の皆様、また新たにコンソーシアムを結成したい化学物質がございましたら、事務局までご連絡ください。

- GPS/JIPSコンソーシアムと安全性要約書のドラフト

下表の安全性要約書のドラフトは日化協が推進するGPS/JIPS活動の一環としてGPS/JIPSコンソーシアムが作成したものです。

『GPS/JIPSコンソーシアム』とは、化学物質のリスク評価および安全性要約書作成に係る共通課題を協働で解決することを目的として、対象の化学物質ごとに日化協の会員企業有志で構成されたグループです。本コンソーシアムでは、協働でリスク評価を進め、最終的なアウトプットとして安全性要約書のドラフトを作成しています。

下表の安全性要約書のドラフト作成段階の化学物質に関するコンソーシアムに参加されたい会員の皆様、また新たにコンソーシアムを結成して検討したい化学物質がございましたら、事務局までご連絡ください。

安全性要約書のドラフトは、Word形式で作成しております。物質名称をクリックし、Zip形式のファイルをダウンロード後、解凍して貴社の安全性要約書の作成にご活用ください。

なお、安全性要約書は、最終的には個社の責任で公開するものであり、個社の状況に合わせて内容を吟味する必要があることから、安全性要約書のドラフトの記載は最大公約数的な範囲になっています。この点をご理解頂き、貴社の安全性要約書の作成にご活用ください。

問い合わせ先：BIGDrヘルプデスク経由(BIGDrの[お問い合わせページ](#))で、内容欄に「GPS/JIPS推進部事務局宛て」をご記載の上、お問い合わせください。

CAS番号	物質名称	GPS/JIPSコンソーシアム参加企業	安全性要約書のドラフト作成の進捗
1310-73-2	苛性ソーダ	(株)トクヤマ、電気化学工業(株)、東亜合成(株)、日本曹達(株)、(株)カネカ、(株)ADEKA、(株)クレハ	済(2015年7月)
7647-01-0			済(2015年7月)
7782-50-5			作成予定

日化協の GPS/JIPS コンソーシアムが作成した安全性要約書のドラフトが掲載されていますので、ぜひ広くご活用ください。
対象物質は今後、順次追加していく予定です。

3. 1 1 GPS/JIPS

① 機能

- ☆ このページでは、日化協が推進する GPS/JIPS の取組について紹介しています。
- ☆ 日化協では、化学品管理強化のための新たな化学工業界の自主的取り組みとして、2009 年 5 月より“JIPS”（ジャパンイニシアチブ オブ プロダクトステewardシップ、Japan Initiative of Product Stewardship）の取り組みを開始しています。
- ☆ JIPS は、国際的な取組みである ICCA の PS（プロダクトステewardシップ）/GPS（Global Product Strategy、グローバルプロダクト戦略）を基本概念として、サプライチェーンを考慮したリスク評価およびリスク管理をベースにした、産業界の自主的な取り組みです。JIPS は GPS の日本における具体化と位置づけているものであり、そのことを強調するために「GPS/JIPS」という用語を用いています。

② 利用目的

- ☆ GPS/JIPS について知りたい場合にご活用ください。

③ 使い方

- ☆ GPS/JIPS について知りたい場合に、「JIPS 化学品のリスク最小化を目指す化学産業界の自主活動」の PDF ファイルをご覧ください。概要を把握したい場合には、要約版もご用意しておりますので、そちらをご覧ください。
- ☆ 日化協の GPS/JIPS ポータルサイトにも詳しくまとめられておりますので、あわせてそちらもご覧ください。

- GPS/JIPS

GPS/JIPSの詳細については、以下のパンフレットおよび[日化協GPS/JIPSポータルサイト](#)をご覧ください。

[JIPS 化学品のリスク最小化を目指す化学産業界の自主活動](#)

[JIPS 化学品のリスク最小化を目指す化学産業界の自主活動【要約版】](#)

**GPS/JIPS について知りたい場合は
こちらの PDF ファイルをご覧ください。**

3. 1 2 ケミマガアーカイブス

① 機能

- ✧ 「ケミマガ アーカイブス」とは、みずほ情報総研（MHIR）が配信しているメールマガジン「ケミマガ」（化学物質管理に関する国内外の主要ホームページにおける新着情報や報道発表情報を網羅的に収集・整理したもの）、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）が発行しているメールマガジン「NITE ケミマガ」、一般社団法人 日本化学物質安全・情報センター（JETOC）が配信している最新情報の見出し記事を、過去数年分（ケミマガ：2012年以降、JETOC 記事：2013年以降）にわたって整理したものです。
- ✧ ケミマガアーカイブスでは、国内外の主要機関のホームページにおける過去の更新情報を、国別（機関別）・ジャンル別（分野別）に時系列順で参照することが可能です。情報は月に1回の頻度で更新されます。

② 利用目的

- ✧ 以下のような場合にケミマガアーカイブスをご活用ください。
 - ・国内外の主要機関における化学物質管理に関する最新情報をチェックしたい場合（1ヶ月間の国内外の動きをチェックしたい場合など）
 - ・特定の国や機関におけるこれまでの化学物質管理の経緯や動向をチェックしたい場合
 - ・特定のジャンルやトピックについての国際的な化学物質管理の動向をチェックしたい場合

③ 使い方

- ✧ 最初の画面では全ての情報を時系列順（新しい順）に表示されています。最初の画面では、すべての国・地域やジャンルの情報が掲載されています。
- ✧ 画面左側の欄から閲覧したい国・機関やジャンルを選べば、該当する情報のみが抽出されて表示されますので、探したい情報に合致する分類を選択してご利用ください。
- ✧ JETOC の情報については見出しの後ろに【JETOC 記事】と記載されております。見出し記事の元ページへのリンクについては JETOC 会員限定となっておりますので、JETOC 会員の方は画面上部のリンクから JETOC のホームページに移動してご確認ください。

ケミマガ アーカイブス powered by MHIR, partially supported by JETOC

一覧表示 (時系列順)

国・機関別表示

国際機関 (OECD等)

欧州

米国

カナダ

アジア (日本以外)

中国

韓国

台湾

上記以外のアジア

オセアニア

日本

経産省

環境省

厚労省

他省庁・機関

国内その他

その他

ジャンル別表示

法規制・インベントリ

SDS・GHS

PRTR

農薬・バイオサイド

食品・化粧品・医薬品

ケミマガ アーカイブスとは

- ・「ケミマガ アーカイブス」とは、みずほ情報総研 (MHIR) が配信しているメールマガジン「ケミマガ」(化学物質管理に関する国内外の主要ホームページにおける新着情報や報道発表情報を網羅的に収集・整理したもの) について、過去の配信情報も含めて国別・ジャンル別にリストに整理したものです。「ケミマガ」について詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。
- ・また、ケミマガアーカイブスでは、一般社団法人 日本化学物質安全・情報センター (JETOC) にご協力いただき、JETOCのホームページに掲載されている最新情報の見出し記事を掲載しております。見出し記事の元ページについては[こちら](#)をご覧ください。なお、JETOCの記事については末尾に【JETOC記事】を付与しています。
- ・ケミマガアーカイブスでは、これらの情報を国別・ジャンル別に分けて表示することができますので、欲しい情報を探しやすいくなるほか、国やジャンルごとの国内外の動きや経緯を振り返ることも可能となります。
- ・更新頻度については月に1回(月末)を予定しております。
- ・「ケミマガ」、「キーワードによる検索」については、[こちら](#)をご覧ください。

一覧表示 (時系列順)

100 件ごとに表示されます。

前の100件表示 後の100件表示

更新日	ジャンル	国・機関	内容
2015/08/18	農薬・バイオサイド	農林水産省	【輸出相手国の残留農薬基準に対応した病害虫防除マニュアル(「いちご」及び「煎茶(一番茶)・玉露」)の公表について (2015/08/18)】 標記マニュアルが取りまとめられた。「いちご」及び「煎茶(一番茶)・玉露」を対象として、 ・日本と輸出相手国の残留農薬基準値の比較 ・国内で使用される農薬の残留実態 ・化学合成農薬代替防除技術 等が整理されている。 http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/150818_1.html
2015/08/17	セミナー・審議	欧州食品安全庁	【Modification of maximum residue levels for cyazofamid in hops, glo

国・機関別、またはジャンル別に絞り込んで時系列順に表示することが可能です。

一覧表示 (時系列順)

国・機関別表示

国際機関 (OECD等)

欧州

米国

カナダ

アジア (日本以外)

中国

韓国

台湾

上記以外のアジア

オセアニア

日本

経産省

環境省

厚労省

農薬・バイオサイド

前の100件表示 後の100件表示

更新日	ジャンル	国・機関	内容
2015/08/18	農薬・バイオサイド	農林水産省	【輸出相手国の残留農薬基準に対応した病害虫防除マニュアル(「いちご」及び「煎茶(一番茶)・玉露」)の公表について (2015/08/18)】 標記マニュアルが取りまとめられた。「いちご」及び「煎茶(一番茶)・玉露」を対象として、 ・日本と輸出相手国の残留農薬基準値の比較 ・国内で使用される農薬の残留実態 ・化学合成農薬代替防除技術 等が整理されている。 http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/150818_1.html
2015/08/17	農薬・バイオサイド	環境省	【「水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準値(案)」に対する意見の募集(パブリックコメント)について(お知らせ) (2015/08/17)】

3. 1 3 お問い合わせ

① 機能

☆ BIGDr の使い方やリスク評価等に関する疑問や質問に回答する「ヘルプ機能」です。

② 利用目的

☆ BIGDr の使い方やログイン方法、リスク評価等に関してご不明な点等がございましたらご活用ください。

☆ なお、会員の方は、ログインした後であれば会員専用の問い合わせボタンがございますので、ログインした後でご利用ください。

③ 使い方

☆ お問い合わせまたはご要望の件名と内容、及び、返信先メールアドレスをご記入の上、送信ボタンを押してください。

☆ 後ほど、事務局からご回答致します。(事務局内で確認を行いますので、回答までにお時間がかかる場合がございますが、あらかじめご了承ください。)

